

News Release



平成25年9月9日

各報道機関文教担当記者 殿

10/12 公開シンポジウムを地元で開催

金沢大が未来を拓く最先端の研究を紹介

金沢大学では、2008年度から毎年、本学が有する世界に誇る最先端の研究を紹介するシンポジウム「金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム－Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー－」を東京、大阪などで開催してきました。

6回目となる今回は、日頃から本学を応援してくださっている地域の皆さまに、本学の3つの研究域がそれぞれ進めている研究のうち、特色ある最先端の研究を分りやすく紹介いたします。

については、事前報道及び当日取材について、よろしくお願いたします。

－Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー－

■第6回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム 大学を、超えていく。－東アジアの知の拠点－

日時：平成25年10月12日（土）13：30～

場所：金沢市文化ホール(金沢市高岡町15番1号)

テーマ：「大学を、超えていく。－東アジアの知の拠点－」

詳細：別添チラシのとおり

参加無料

(参加申し込みフォーム)

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/events/13/10/12/index.html>

※電話、FAX、電子メールでの申し込みも可。 申し込み締切：9月30日（月）

本件照会先：金沢大学総務部総務課長 上地
Tel 076-264-5006

担当：金沢大学広報戦略室 福田
Tel 076-264-5024

Features for the Future

フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー



金沢大学

KANAZAWA UNIVERSITY



国立大学2013 JANU

Kanazawa Univ.

第6回

金沢大学未来開拓
研究公開シンポジウム

大学を、 超えていく。

— 東アジアの知の拠点 —

2013

10/12 SAT 13:30~

[会場]

金沢市文化ホール
(金沢市高岡町15番1号)

参加
無料

13:30 開会挨拶 金沢大学長 中村 信一

13:40~ 【講演】
「磁歪材料を用いた
振動発電技術とその応用」

上野 敏幸 理工研究域電子情報学系・准教授

14:15~ 【講演】
「スーパー予防医学構想と
革新予防医科学共同大学院の設置」

中村 裕之 医薬保健研究域医学系・教授

14:50~ 休憩

15:05~ 【講演】
「文化遺産を
“文化資源”ととらえる」

■ 文化資源マネージャーを育てる
鏡味 治也 人間社会環境研究科長

■ マヤ文明の「謎」に挑む
—二つの世界遺産をつなぐ金沢大学の取り組み—
中村 誠一 人間社会研究域附属
国際文化資源学研究センター・教授

16:05 閉会挨拶 金沢大学理事・副学長 櫻井 勝

参加申込

参加ご希望の方は、電話・FAX・電子メール・Webにて
ご氏名・ご連絡先をお知らせのうえ、お申込み願います。 ※目的以外の利用及び第三者への提供はいたしません。

シンポジウム申し込み締切

お申し込み・お問い合わせ先
総務部総務課総務係 〒920-1192 金沢市角間町

2013年 9月30日(月)

TEL 076-264-5010
FAX 076-234-4010

e-mail ffk@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL http://www.kanazawa-u.ac.jp/

日時 2013年10月12日(土) 13:30~

場所 金沢市文化ホール (金沢市高岡町15番1号)

テーマ 大学を、超えていく。
— 東アジアの知の拠点 —

本学は、国際的な視野に立った教育と最先端の研究を進め、社会貢献をとおして地域との絆を強め、企業との活発な交流に努めています。地域にしっかりと根ざしながらも世界に開かれた「東アジアの知の拠点」を担う総合大学です。

本シンポジウムでは、本学の3研究域それぞれが進めている研究のうち、特徴ある研究テーマについて地元の皆様にわかりやすくご紹介いたします。

講演要旨

「磁歪材料を用いた振動発電技術とその応用」

上野 敏幸 理工研究域電子情報学系・准教授

磁歪材料という特殊な金属を用い、人の動きや機械の振動から発電を行う画期的な技術を開発しました。この技術が実用化されると、電池のいらないリモコンや照明、橋の劣化や機械の異常を知らせるシステムが実現できます。風や波など自然の力でも発電ができ、発電機を大きくすることで、環境に優しいエネルギー源を実現する可能性もあります。講演では、実演を交え振動発電技術の現状と応用、その将来性について紹介します。

「スーパー予防医学構想と革新予防医科学共同大学院の設置」

中村 裕之 医薬保健研究域医学系・教授

「21世紀は予防の時代である」と言われていますが、これまで病気の減少という点では、病気の予防に成功したとは言えません。そこで我々は、さらに予防の精度を飛躍的に向上させるスーパー予防医学なる新しい学問体系を提唱しました。それは、生活習慣の健康への影響や薬剤の感受性における個人差を考慮したテイラーメイド型(個人に合した)予防法です。平成28年春には、「3大学(千葉大学・金沢大学・長崎大学)革新予防医科学共同大学院」を設置し、我が国から世界へと発信する革新予防法を創り出すとともに、国際的に展開できる人材の育成を目指します。講演では、スーパー予防医学構想について紹介します。

「文化資源マネージャーを育てる」

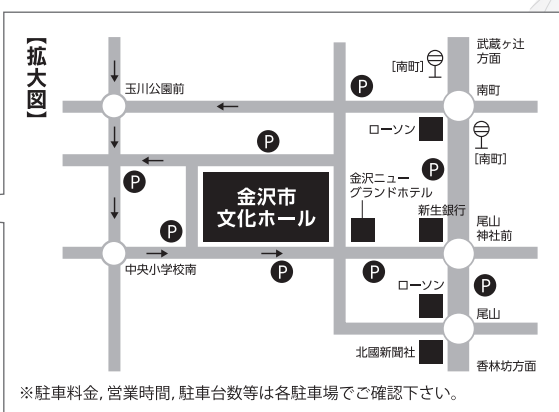
鏡味 治也 人間社会環境研究科長/人間社会研究域人間科学系・教授/人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター長

5年一環教育プログラム「文化資源マネージャー養成プログラム」とは、多様な文化の存在を尊重し、多文化共生の未来社会を築いていくため、地域の文化資源の世界的な活用を可能にする発掘・管理・提案能力を身につけた人材を育てていくものです。多彩な伝統文化が継承されている金沢に立地する本学ならではの本プログラムについて紹介します。

「マヤ文明の『謎』に挑むー二つの世界遺産をつなぐ金沢大学の取り組みー」

中村 誠一 人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター・教授

我々は、中米のグアテマラとホンジュラスでの発掘調査を通じて、マヤ文明の知られざる歴史の解明を目指しています。そのため、マヤ文明を代表する世界遺産であるグアテマラのティカルとホンジュラスのコパンの二ヶ所に研究拠点を設立しました。さらに、遺跡のような文化遺産をそれに関係する人々すべてにとって有用な、新たな価値を生み出す資源と位置付け、その保存と活用を両立させる方法を探っています。講演では、大学プロジェクトの成果と将来への展望について紹介します。



※駐車料金、営業時間、駐車台数等は各駐車場でご確認ください。